



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

# 鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成29年2月7日(火) 第2790回 例会 (本年度第25回)

2月21日(火)	ゲストスピーチ 国井英夫氏
2月28日(火)	インナーシティーミーティング
3月7日(火)	新入会員スピーチ 榎本久静子君
3月14日(火)	うどん打ち家族例会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/>

## 会長報告

会長／加藤 亨

先週から天候大荒れで、交通機関が乱れ皆さん的生活にも影響があったと思います。立春も過ぎ、もう少しの辛抱だと感じています。

## ○第9回理事会報告

## ①インフォーマルミーティングの開催について

日時：2月28日(火) 19時より

講師・進行：藤川パストガバナー

内容：講師が皆さんの質問に答えます。

## ②東京東江戸川RC観桜会について

日時：3月25日(土)

内容：屋形船での観桜 早めの予約必要

## ③天童ロータリークラブ創立60周年祝賀会

日時：3月26日(日)

出席予定者：会長、幹事、藤川PG

## ④寒鰐家族例会決算報告

収入：252,000円 支出：246,000円

収入残6,000は親睦委員会費へ戻し

西川さんには大変ご協力を頂きありがとうございました。

## ⑤次年度社会奉仕補助金申請について

由良地区の看板設置で承認されました。

## ⑥うどん打ち家族例会について

日時：3月14日(火) 点鐘18:30

会場：華夕美日本海

登録料：会員5,000円 家族3,000円

小学生以下無料&王くん、パウロ君と  
ホストファミリーはご招待

## ⑦第3回クラブ協議会について

来週の予定を2月25日PETS終了後の3月に  
変更する。

会員数	34名
出席	23名
出席率	79.31%
前々回確定出席率	68.97%

■RI会長 ジョン・F・ジャーム ■地区ガバナー 長谷川 憲治

■会長／加藤 亨 ■副会長／武田啓之 ■幹事／富田喜美子 ■会長エレクト／木村 節  
■会報委員会／阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

## ⑧職業奉仕講演会のお知らせ（予告）

日時：4月2日(日)

会場：天道ホテル

昨日鶴岡西クラブへ藤川さん、富田さん、成規さん、西川さんと私でマイクに行ってきました。初めてのマイクで大変私の至らなさを認識させられました。五十嵐会長は勉強もされておられ、会長報告も今後参考にさせていただきたいと思いました。

そしてゲストの卓話は東クラブ会員の五十嵐勇さんで声を失った方に声を取り戻し、明るい日常生活を送っていただきたいとの思いから人口喉頭、発声補助装置を開発されており、装置内容の説明と実際に声をなくされた方が童話を読んでくれました。私達が普段何気なく声を発するためには、声帯を震わせて、口と舌で言葉をしている。私は声の発し方を意識していなかったので、その原理の説明を受けた時点で「ハッ！」と思いました。

よく会社でも改善提案制度がありますが、普段何気なく行っていることからはアイディアは生まれませんが、何か困ったときなどに色々と考え、良し悪しは別に何らかのアイディアを出すことがあります。皆さんも日常の何気ない行動から社会に役立つことを考えてみてはいかがでしょうか。

## 幹事報告

会長／富田 喜美子

## ○台中港区扶倫社

台中港区扶倫社創立45周年記念誌



## 職業奉仕について

RID2800 職業奉仕委員会 委員長 富樺 松夫君



ロータリアンである皆さんが職業奉仕って何と問われたら、どのように答えますか？

きっと皆さん「職業を通じて奉仕すること」と答えるのではないでしょうか。

それでは、ここでいう「奉仕の理念（理想）」とは何を指すのでしょうか。

ロータリーの理念には2つあると思います。そのひとつには「他人のことを思いやり、他人のために尽くす」という“Service above self”、「超我の奉仕」で表現される人道的奉仕活動の理念（哲学）であり、そしてもう一つは“He profits most who serves best”「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」というモットーで表現される職業奉仕の根幹をなす標語です。この言葉はアーサー・フレデリック・シェルドンがロータリーの奉仕理念として提唱したものです。自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという独自の思考です。

高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素です。その中で生まれたのが、「四つのテスト」であり「ロータリアンの行動規範」の2つです。職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっております。

ところで、最近のロータリーは様変わりしてきました。例えば、「奉仕の心と実践に満ちた職業人を育てるクラブから、団体で奉仕事業をするクラブへ」、「一業種一名の原則が数名へ」、「職業を持たない人でも入会可能へ」、更には、昨年の規定審議会では「例会日の減少」、月2回以上可能などです。

私はロータリーにおいて、「変えてはならないもの」と「変えなければならないもの」をはっきり分類しておく必要あると思います。

まず、絶対に変えてはならないものは「ロータリーの哲学」すなわち「ロータリーの奉仕理念」です。

ロータリーの哲学を変えれば、それはロータリーでなくなるからです。

決議23-34には触れませんでしたが、「決議23-34」には、「この哲学は Service above self の奉仕の哲学であり、He profits most who serves best という実践論理に基づくものである」と明記されております。すなわち、ロータリーの奉仕哲学は、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」の二つのモットーであり、この二つのモットーはどんなことがあっても絶対に変えてはならない奉仕理念だと思います。

変えてはならないものがある一方で、「変えなけ

ればならないもの」があります。

組織の管理運営を長年変更せずに放置しておけば、必ず制度疲労を起こして、その組織は衰退の道を辿るでしょう。会社しかり、RI やロータリークラブの管理運営も社会変化に適応するようにならなければなりませんし、現状維持は衰退だと思います。

奉仕活動はロータリアンの思いつきで選択すべきではなく、社会のニーズに従って実践する必要があります。現代社会では、産業構造の変化、需要供給バランスの変化、目まぐるしく変わる社会への多様性への順応など、様々な要素によって地域社会のニーズは変化していきます。その変化に伴って奉仕活動の実践も変化していかなければならぬと思います。

会員の減少によってすべての奉仕団体は存亡の危機に立たされていると思います。ライオンズクラブ然り、ソロプロチミストも然りそれを打開するためにも、ロータリー固有の奉仕理念は変えてはならないことを再確認し、ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違うところは職業奉仕の概念を持っている事、その理念を継続していかなければならぬという言葉で今日の話を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

## 委員会報告

### 出席委員会

#### ◆ビジター

鶴岡西ロータリークラブ 阿部悦子君

#### ◆メイクされた方

本間厚君 佐藤詩郎君 佐藤友行君 加藤一弘君  
丸山隆志君 越智茂昭君 菅原成規君 武田啓之君  
富樺松夫君 富田喜美子君

## スマイル

阿部悦子君 昨日は5名も西クラブにメイクに来ていただき、ありがとうございました。とても賑やかで、活気を感じました。私は4月で18年になります。先輩の皆様よりご支援頂き何とか皆出席を続けています。今日は富樺さんの職業奉仕スピーチを聞いて良かったです。私の職業奉仕はお客様の利益を第一に考えています。

加藤 亨君 富樺さん卓話ありがとうございました。  
5日に長男が入籍し家族が増えました。

富樺松夫君 ①孫のクリスマス家族会での写真が会報に載りましたので。 ②職業奉仕の卓話にお声を掛けて頂き、ありがとうございました。

